

4年に一度の特別企画
登録有形文化財「樟徳館」(旧森邸)を一般公開
～材木商の建てる関西最高の松普請を観る～

4年に一度の限定特別企画!11月12日(土)・13日(日)の2日間、樟蔭学園(東大阪市)が保有する登録有形文化財「樟徳館(しょうとくかん)」を一般公開します。

樟徳館は、学園創始者である傍ら、大阪有数の材木商であった森平蔵(もりへいざう)が昭和14年に建築した私邸です。その歴史的価値は高く評価され、NHKドラマ「あさが来た」や「白洲次郎」の舞台になるなど、現在ではドラマの撮影にも使用されています。また、材木に精通していたからこそそのこだわりや、妥協のない建築美を是非肌で感じて頂けたらと思います。

建設には約7年の歳月を費やし、敷地の隣に専用の製材所を設けるほどの徹底ぶりでした。木造二階建の母屋は、関西で最高の松普請だと言われています。仏間や納戸などは杉や檜をあしらうなど、現在では入手困難な良材銘木を随所にちりばめられた、昭和の名建築のひとつです。また、建物の外観は純和風であることに対し、内観は和洋折衷の先駆的な装飾が施されています。品格ある和風意匠を基調としつつ、諸所にステンドグラスや陶製の暖炉、独自の家具を配した意匠の多様さは必見です。

当日は、建築にご興味のある方だけでなく、多くのお客様をお迎えしたいと考えております。見学のポイントを解説する説明会や英語のパンフレットのご用意もありますので、幅広く告知くださいますようよろしくお願い申し上げます。

【開催概要】

日時：平成28年11月12日(土)・13日(日)

午前11時～午後4時(受付は3時まで)

申込：不要(入場無料)

場所：樟徳館(東大阪市菱屋西2-4-12)

交通アクセス：

近鉄大阪線「長瀬」駅より 長瀬川沿いを北へ徒歩5分

近鉄奈良線「河内小阪」駅より 長瀬川沿いを南へ徒歩20分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

お問合せ先：学校法人樟蔭学園 100周年記念事業本部

TEL 06-6723-8152 FAX 06-6723-8263

※取材いただける場合は、必ず事前にご一報ください。



樟徳館 正面玄関

--- 説明会 『樟徳館の魅力』 ---
解説者：樟蔭学園監事 藤原準二
場所：樟徳館 庭園
両日とも ①11:00～ ②13:00～

<取材のお申込・お問合せ先>

学校法人樟蔭学園 100周年記念事業本部(担当：梶田・宮田)

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26/TEL:06-6723-8152(直通)

FAX:06-6723-8263/E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭学園は創立100周年

100th

Anniversary in 2017

樟蔭学園100周年記念ロゴマーク

【樟徳館について】

登録有形文化財である樟徳館は、樟蔭学園創立者（大正 6 年）であり材木商だった森平蔵の私邸として昭和 14 年に建てられました。その建築にあたっては、最高の木材を使った家造りにこだわり、実に構想を含め約 7 年の歳月を経て完成されました。全国各地から厳選された良材銘木は、隣地に設けられた専用の製材所にて原木で集められ、秀でた大工普請による建築は 4 年の歳月を要しました。

完成後、21 年間私邸として使用されたのち、没後（享年 85 歳）遺志により樟蔭学園に寄贈され、「樟徳館」と名付けられました。

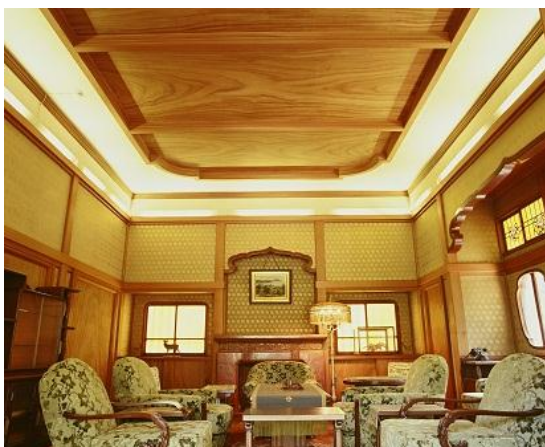
平成 12 年、「造形の規範となり、再現が容易でないもの」として、主屋・土蔵・鎮守社・門・東塀・南塀の 6 点が国の登録有形文化財に登録されました。



外観は瓦葺き入母屋造の棟を連ねる書院造の系統を引く諸建物で構成されている純和風建築。



寄木で綿密な幾何学模様が施されている洋風居間の床部分。四隅には柿の木で模様が埋め込まれている。



天井には巨大な楠の一枚板、壁には西陣綴れ織のクロス、ガラス窓の見事な曲線など、当時の最高の材料と職人技が集められた応接室



樟徳館建築のために作られた専用の製材所での作業風景

※写真データをご希望の際は、お問い合わせ先よりご連絡ください。